

# Finance NEWS

2017.11.30

20代の保険って・・・漠然とした不安で保険に入っていないませんか？

## 給料の1割が保険料神話

最近ぼんやりテレビを見ていたら、アイドル対ロボットアームの将棋対局にからませて20歳代の生命保険

の必要性を訴える

内容のCMがあったので、少々びっくりしました。

曰く「先手病気の際の入院費～」。

その後（実際にはプロに勝っている）



ロボットアームが、アイドルに食費や光熱費などの手で打ち負かされていきます。ご覧になられた方も多いと思いますがこれを見ていると、よくわからないけど何もしないのはよくないのではないかと、不安を感じさせます。いや、よくできています。さすが（笑）。4月からスタートしたこのCM、まだ右も左もよくわかっていない新入社員に向けて、でしょうか。

なんてエラそうに言っている私も30年前、「給料の1割が保険料」とだけ考えて「セイホのおばちゃん」の言われるままに保険に加入したのですが。

商品内容を少し詳しく見てみましょう。例えば25歳の男性が加入すると、毎月の保険料 ¥11.107

これを10年間払い込みます。

よって  $¥11.107 \times 12 \text{ か月} \times 10 \text{ 年} = ¥1.332.840$

35歳まで全部で133万円ほど払います。

これに対して保障内容は

病気 ケガで入院

1日目～60日目 日額 ¥10.000 最大 ¥600.000

“所定の生活習慣病”で入院した場合は、上記が2倍 = 120万円

手術については

入院中の手術 ¥200.000 外来手術 ¥50.000 計 25万円

死亡高度障害などの保障は所定のガン、心筋梗塞、脳卒中、所定の要介護状態、所定の高度障害状態で最大一時金で ¥21.010.000

死亡も同じ ¥21.010.000 だそうです。

具体的には例えば、盲腸なんかで入院して1週間入院したら27万円くらい出ます。

でもあくまで133万円払ううちの27万円です。

“所定の生活習慣病”になって60日間入院すれば、ようやく120万円支給されます。一番“お得”なのは“所定の高度障害”になるか死亡すると2千1百万円ほど出ますが、今度は独身だとムダ、逆に家族がいればこれでは恐らく到底不足です。そもそも20代、月1万円なら保険料よりスポーツジムなど、健康増進に使った方がよいと考えますが、いかがでしょうか。

「保険は不幸の宝くじ」、なんていう言い方があります。

そもそもライフプランがあって、金銭的不足を補うために保険が必要になるのです。皆様、加入される時は必ず担当FPに相談なさってくださいね。

